

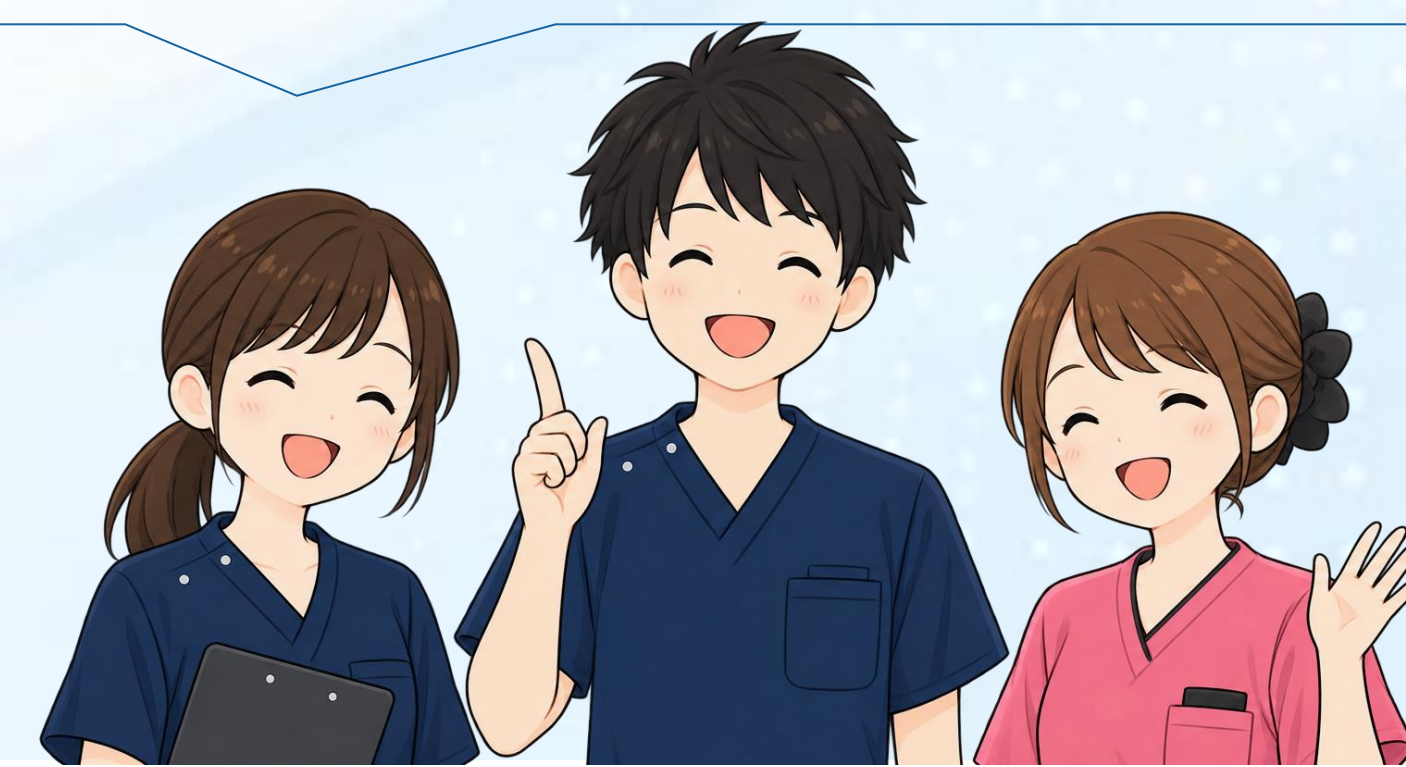
がん化学療法の安全を支える 薬剤部のチェック体制

～患者さん一人ひとりに、何重もの確認を～

薬剤部では、**患者さん一人ひとりの治療内容を確認し**、
何重ものチェックを行っています。
さらに、「調製支援システム」を活用し、**安全**ながん化学療法を支えています。

薬剤部

今回は、
安全ながん化学療法を支える
「**薬剤部のチェック体制**」をご
紹介します！



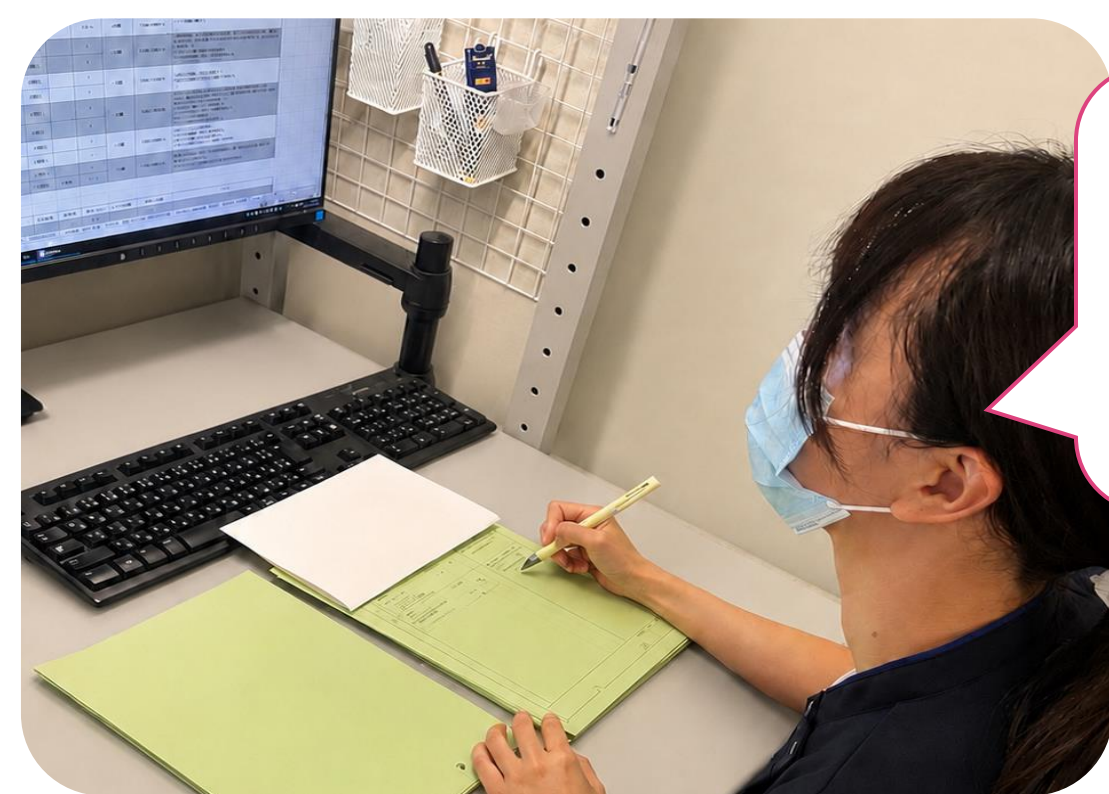
① 調製前 | 患者さんごとに薬剤師が確認

処方内容やプロトコルをしっかり確認し、安心して調製へ

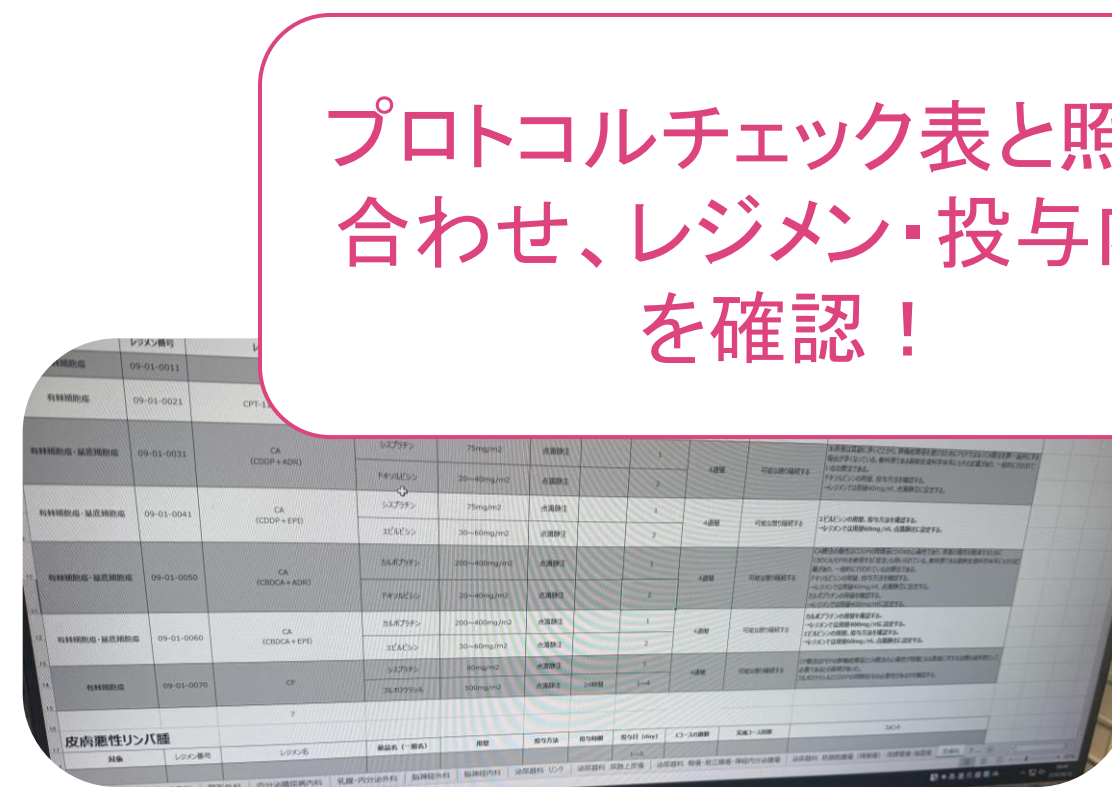
患者さんごとの投与内容の確認
検査値、体重・体表面積、治療歴など
患者さんごとに確認します。

プロトコルと照合
プロトコルチェック表を確認し、レジメン・薬剤・
投与量・投与間隔などが適切かを照合します。

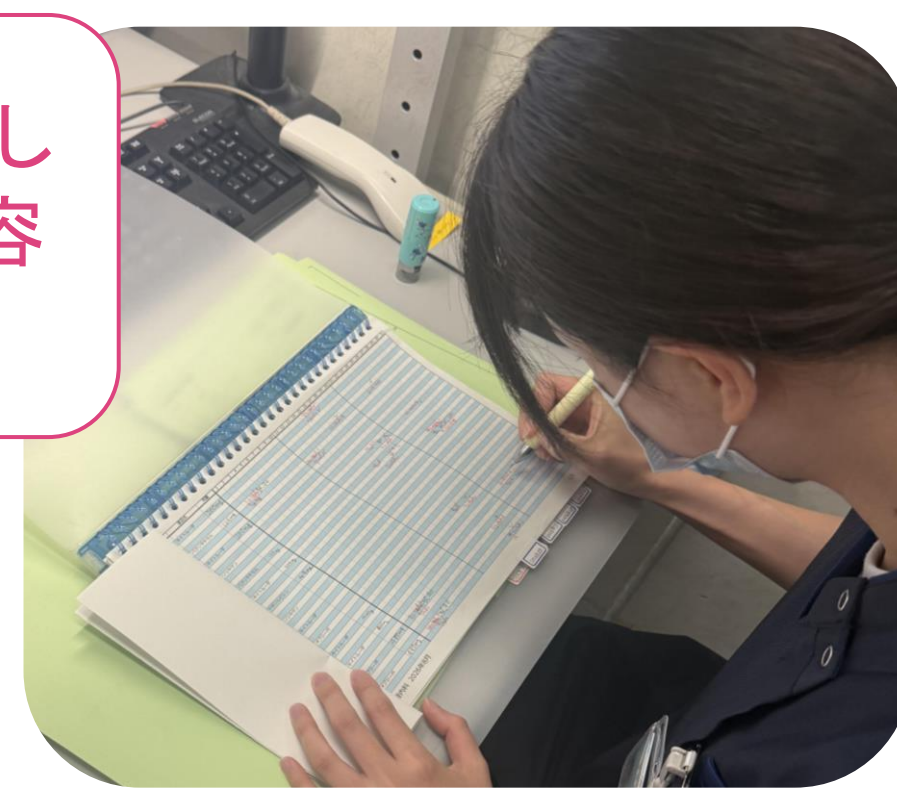
疑問点があれば疑義照会
疑問点を医師へ確認し、適切な治療
につなげます。



患者さんごとに
大事なポイント
を確認！



プロトコルチェック表と照らし
合わせ、レジメン・投与内容
を確認！

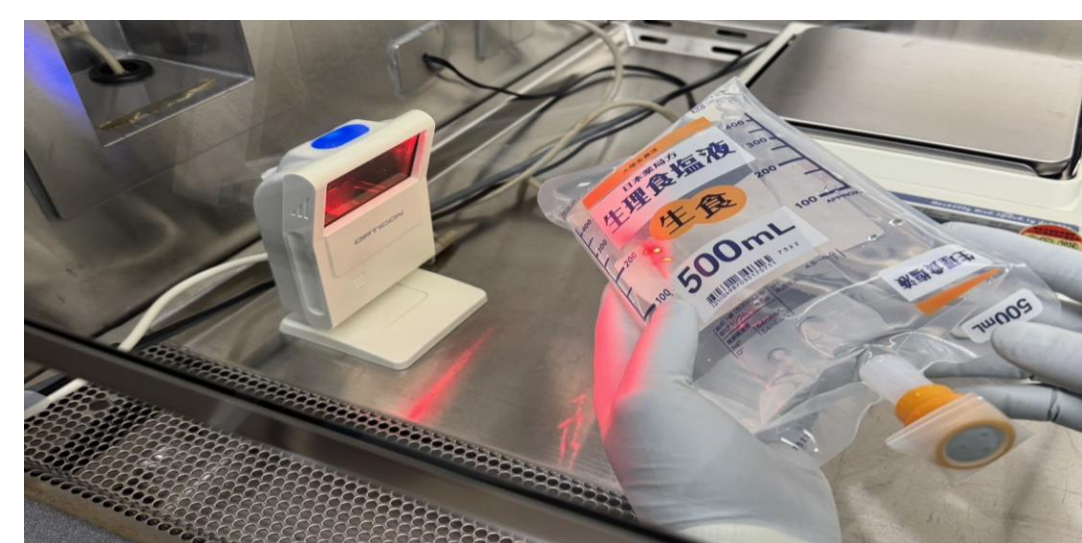


疑問点は
医師に確認！

② 調製中 | 調製支援システムの流れ

バーコード照合や重量監査で、正確な調製をサポート

① QRコードを読み込む



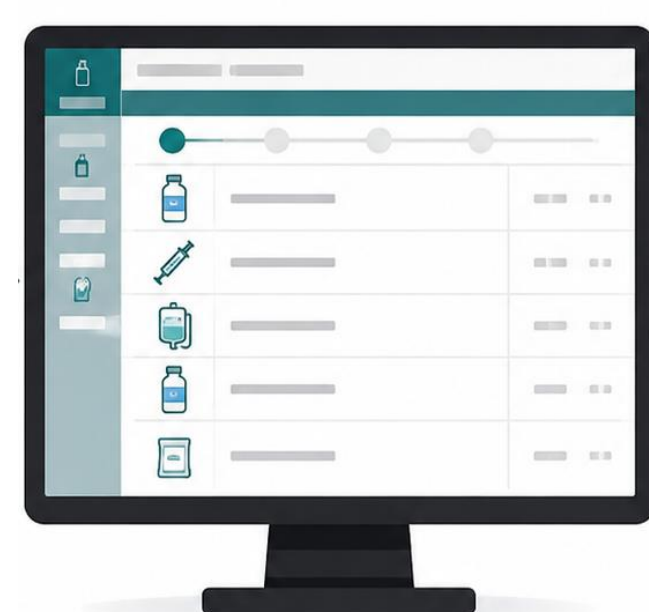
オーダーのQRコードを読み込み、調製内容をシステムに取り
込みます。
→調製液量はシステムが
自動計算し、画面に表示

② バーコード照合を行う



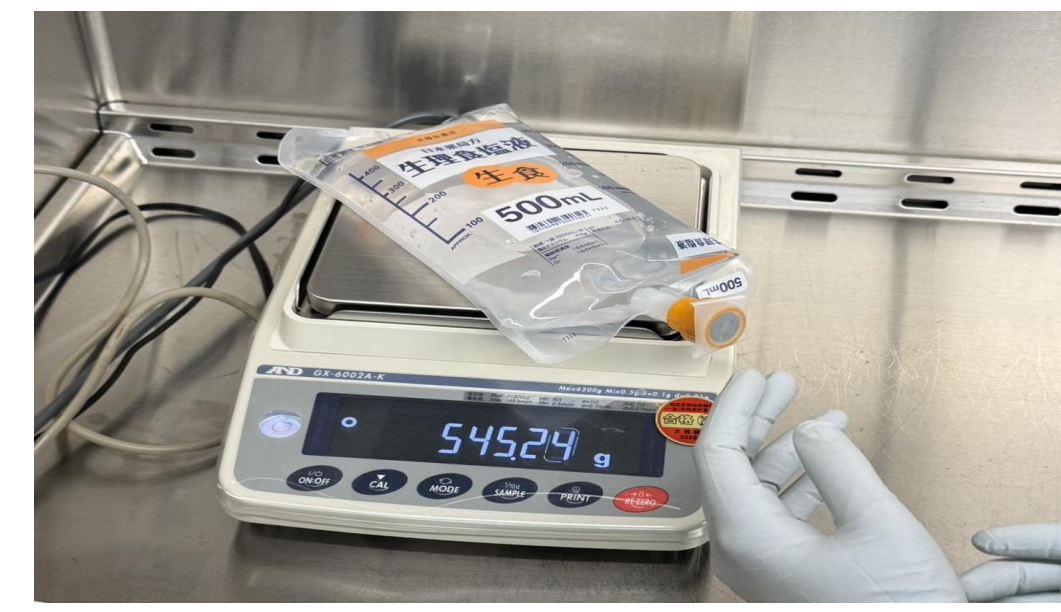
調製する薬剤のバーコードを読み込み、システムが
薬剤・規格を照合します。
→薬剤の取り間違い
防止

③ 調製方法を画面で 確認→調製



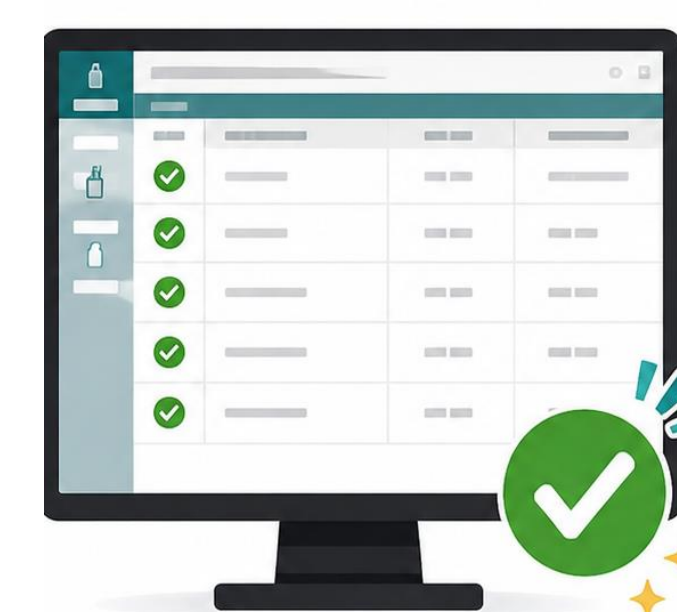
調製方法を画面で確認し、
指示内容と相違がないか
確認します。
→安全・正確に調製

④ 調製後、再度 重量監査を行う



指示に従って調製し、適正
な量が調製されているかシ
ステム上で確認します。
→正確な量を確認

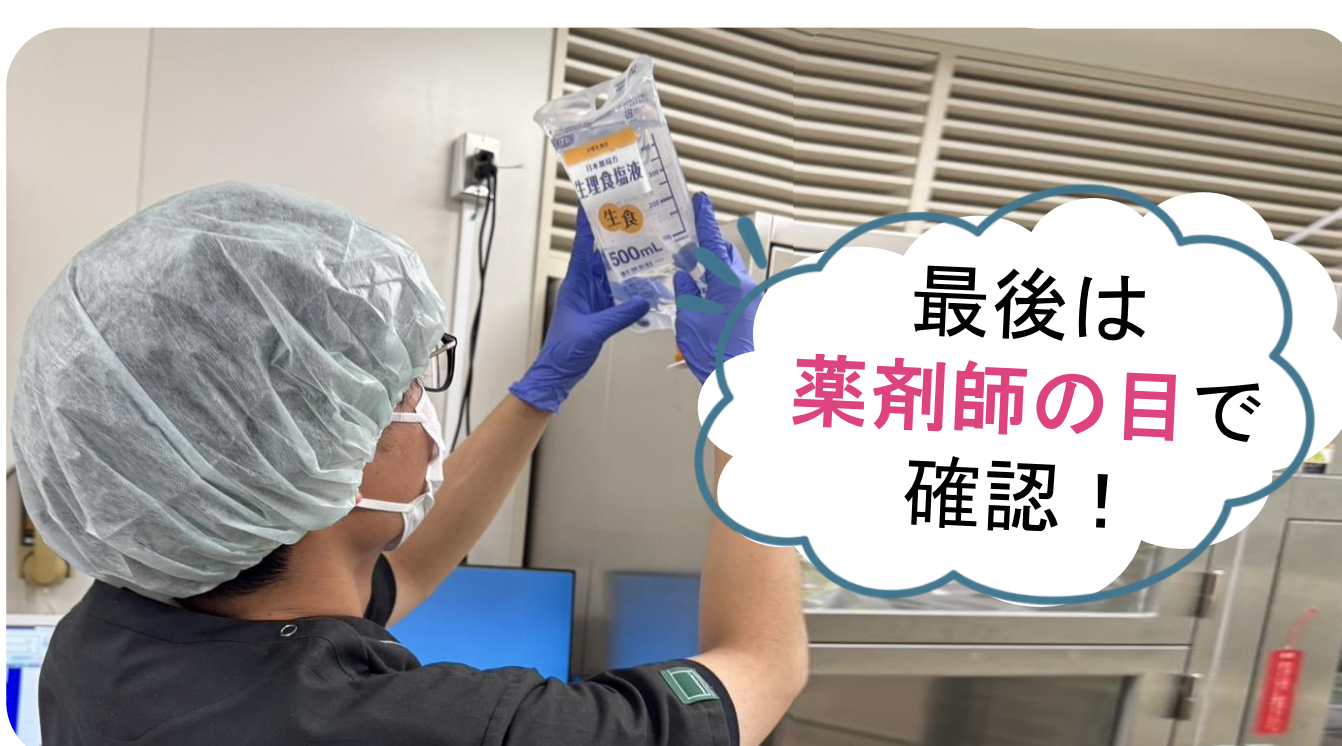
⑤ 調製記録を保存する



すべての記録をシステムに保存
します。「いつ・誰が・何を・どのく
らい調製したか」を記録。
→調製履歴を確実に残す

③ 調製後 | 薬剤師が最終確認

薬剤師が再度確認し、患者さんのもとへ



最後は
薬剤師の目で
確認！

「何重もの確認」が、患者さんの安全につながります。

システムによる確認
バーコード照合・重量監査で取り
間違いや過誤量をチェックします。

×

薬剤師による確認
システムのチェックに加えて薬剤
師が目視でも内容を確認します。

→

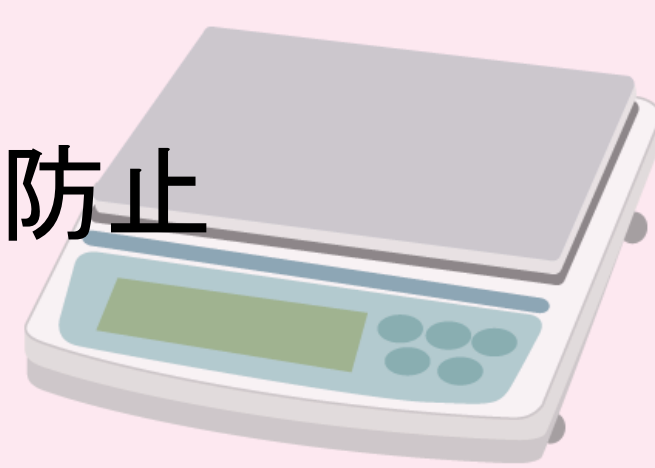
安全・安心な治療へ
システムと薬剤師のダブルチェッ
クで、患者さんの安全を守ります。

薬剤部は「**気づく・つなぐ・守る**」で、がん薬物療法の安全を支えています。

気づく

～間違いにいち早く気づく～

- バーコード照合で、薬剤・患者・調製内容
を照合し、取り違えを防止
- 重量監査で、過量・過少を防止



つなぐ

～情報を正確につなぐ～

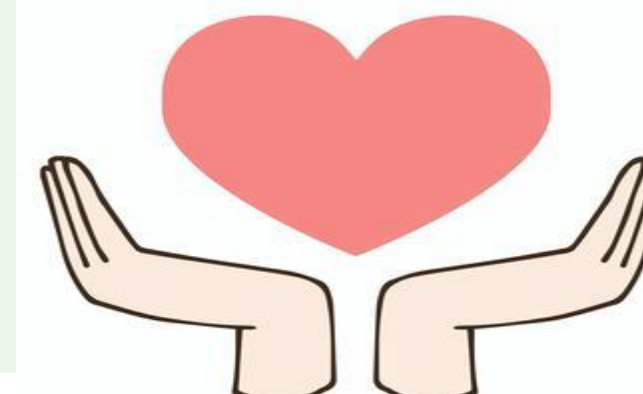
- システムで情報を管理・共有
- 医療スタッフへ必要な情報を共有



守る

～患者さんの安全を守る～

- ダブルチェックで誤調製を防止
- 患者さんの安心・安全な治療に
つなげる



そのほかにも… 薬剤を取り揃える段階から、安全を支えています！

取り間違いを防ぐ「**ピッキングサポートシステム**」

- ✓ 薬剤のバーコードを処方内容と照合。
- ! 異なる薬剤の場合は、**アラート**でお知らせします！

バーコードを読み取り



異なる薬剤は
アラート！

